

「ヘルペス・メニエール病手記」匿名希望 50歳

2014年8月12日

2014年6月15日 日曜日の朝、目が覚め動き出した時にめまいがしました。普段からめまいがあったので特に気にせずソファで横になっていれば治まると思っていました。起き上がるとめまいがします。何回か起き上がろうと繰り返した後、激しい回転性のめまいがおこりました。今まで経験したことのないめまいと強烈な吐き気、その場で倒れたまま動けなくなってしまったのです。主人が「救急車呼ぼうか!?!」と言ってくれたのですが、日曜の住宅地の静かな朝に救急車がくればおおごとになってしまいます。救急車を断ると日曜日に診察をしてくれる病院を探してくれていました。私はトイレに行こうとはっていくのですがめまいがひどいため途中で嘔吐、トイレにたどり着いても便座に座ることもできずまた嘔吐。その後、主人に連れられて病院で診てもらおうと「メニエール病」と診断されました。2日分の飲み薬と注射を打ってもらい、先生と看護師さんに抱えてもらい車まで連れて行ってもらい帰って来ました。翌月曜日、近所の耳鼻科で飲み薬をもらい点滴をしてもらいました。火曜日にも同病院で点滴。激しい回転性のめまいは1回だけでしたが、頭がボーッとして動くフラフラするので起きることができずほとんど横になっている状態でした。その時に「メニエール」と言う病気を詳しく調べてみることにしました。「メニエール」の発症原因は不明で難病指定されており完治は難しいと書かれていました。大変な病気になってしまったというのが最初の感想。先行き見えない不安とまたこのめまいがいつおこるかかわからないという不安。どのサイトにもマイナスなことしか書いてなく、私はいったいどうしたらいいのかと思案に苦しんでしまいました。その時に見つけたのが松本医院のHP。「メニエール」はヘルペスが原因の完治できる病気と書かれていたのです。驚きと同時に一筋の光が見えた思いがしました。

私は口唇ヘルペスを何回も繰り返していましたが、腹部には昔でいう「胴巻き(帯状疱疹)」ができたこともあります。子供の時から体が弱く薬が手放せない生活をしていましたので免疫力がないことも自覚しています。松本先生による「メニエール病」の原因と治療方針は納得できるものがありました。松本先生に治療を受けることに決めた私はその時点から病院で処方してもらった薬を飲むことをやめました。日曜に発症してメニエールの薬を飲んだのは日、月、火の3日間。水曜からは点滴にも行っていません。翌木曜日は診察がお休みでしたので金曜日に主人とともに松本先生の診察を受けました。

当日、おこなった血液検査の結果を後日聞くと単純ヘルペスは基準値の51倍、水痘帯状ヘルペスは10倍と高い値がでていたのです。松本先生のおっしゃっていた「メニエール病」はヘルペスが原因ということがはっきりと数字ででた形

になったのです。私の先生のもとで治療するという選択は間違っていないと確信が持てた瞬間でした。「メニエール」を発症するまではフルタイムで働いていたのですが、治療に専念するために退職しました。発症原因の1つである強いストレスは仕事からきていると自覚があったからです。発症してからの1ヶ月間は倦怠感と頭がボーッとすることもありほとんど寝たり起きたりの毎日。買い物に連れて行ってもらっても店内で少し歩いただけで吐き気がして早々に切り上げてくることも多々ありました。「メニエール病」を過去に発症した友達に「以前はメニエールって病気はあまり知られてなくて(なまけ病)って言われてた」と聞きました。私だけが倦怠感があると思っていましたが、ヘルペスが神経に忍びこんでることで他の人にも同じ症状が出てることがわかりました。松本医院でいただいた薬は坑ヘルペスウイルス薬、喘息の薬も飲んでいたので喘息用の漢方薬、それとヘルペスの漢方薬の3種類。煎じて飲む漢方薬は初めてだったので最初は戸惑いましたが…今では慣れたものです。後、鍼灸も免疫力を高めるために必要だと言われました。

「メニエール病」を発症してから3週間後には喘息の漢方薬はなくなり、1ヶ月半たった今では通常の生活も問題なくできるようになり、1日10錠飲んでいた坑ヘルペスウイルス薬は6錠に減りました。どんな病気でも対処法がわかれば不安はなくなります。私の場合、発症してすぐに松本医院のHPと巡りあえたこと、さらに5日後に診察を受けられたことが本当に良かったと思っています。他の手記の方と同じように私も大阪府内に住んでいるわけではありません。でも、県外のお医者さんでも行こうと思ったのです。薬は送ってくださるので、遠くて診察に行けないから薬がもらえないということもありません。今、現在「メニエール」で悩んでる方がおられるなら少しでも早く松本先生の診察を受けられることを切に願います。